

SP Cast Pocket Mini

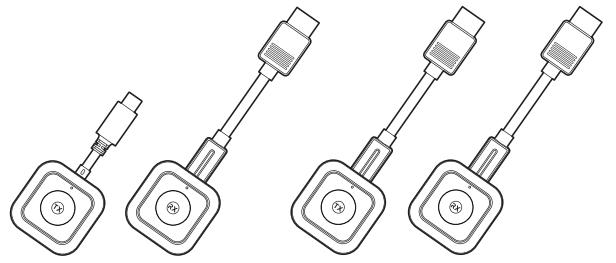
USB PD給電機能付ワイヤレス USB-C親機/子機セット

SC-POCKETMINI-C1R1

ワイヤレスHDMI親機/子機セット

SC-POCKETMINI-H1R1

ユーザーズガイド



このたびは本製品をお買い上げありがとうございます。ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」「製品の保証と修理」をよくお読みいただき、本書の内容をご理解いただいた上でご使用ください。

・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

・本書は保証書とセットになっています。販売店で発行される保証書やレシートと一緒に保管してください。

- 注意**
- ・本製品を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。
コードが首に巻きつくなどした場合、大変危険です。
 - ・本製品を、本書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

株式会社プリンストン

・本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

・本書の内容は予告なく変更されることがあります。

・本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。

・本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

・記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。

・本書では™は明記しております。

・本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

あらかじめご了承ください。

2025年7月 第1版 Copyright®2025 Princeton Ltd.

製品に関するお問い合わせ

困った時は?

製品のよくあるご質問を紹介しています
<https://faq.princeton.co.jp/>

製品情報や対応情報を紹介しています

USB PD給電機能付ワイヤレス USB-C親機/子機セット: SC-POCKETMINI-C1R1 (USB-C→HDMIモデル)
<https://www.princeton.co.jp/product/multimedia/scocketminic1r1.html>

ワイヤレスHDMI親機/子機セット: SC-POCKETMINI-H1R1 (HDMI→HDMIモデル)
<https://www.princeton.co.jp/product/multimedia/scocketminih1r1.html>

FAQ

製品情報等



SC-POCKETMINI-C1R1
(USB-C→HDMIモデル)

SC-POCKETMINI-H1R1
(HDMI→HDMIモデル)

お問い合わせについて

テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

Webからのお問い合わせ

<https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

*つながらない場合は、Webからのお問い合わせをご利用ください。

TEL:03-6670-6848

受付:月~金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00 (祝祭日および弊社指定休業日を除く)

はじめに

本製品の特長

- ノートPCやスマートフォン/タブレットからの映像をワイヤレスでディスプレイに出力可能な親機[受信機(RX)]1台と子機[送信機(TX)]1台のセットです。
- ソフトウェアのインストールや設定作業は一切不要で、機器を接続するだけですぐに使えます。
- HDCPに対応し、さまざまな映像コンテンツを大型ディスプレイに表示できます。
- USB-C接続の送信機(TX)はUSB PD(USB Power Delivery)の給電機能(60Wまで)に対応し、ノートPCなどを充電しながら使用できます。
- 送信機(TX)の操作ボタンを押すことで、映像出力を停止することができます。
- パソコンに送信機(TX)を接続した場合は、映像の「拡張モード」と「複製モード」に対応します。
- 簡単なペーリングで最大7台の送信機(TX)を接続可能。複数の送信機(TX)からの映像を切り替えて、受信機(RX)を接続した1台のディスプレイに表示することができます。
- 最大表示解像度は、1920×1080のFull HDに対応します。
- SC-POCKETMINI-C1R1は、iOS/iPadOS/Android/Windows/macOS/ChromeOSに対応するマルチプラットフォームです。
- SC-POCKETMINI-H1R1は、OSに依存することなくHDMIのワイヤレス化が可能です。

同梱品

本製品のパッケージには次のものが含まれます。同梱されていないものがあれば、販売店までご連絡ください。

| | |
|----------------------------|----|
| 子機[送信機(TX)] | 1台 |
| 親機[受信機(RX)] | 1台 |
| 給電用USBケーブル(USB-A to USB-C) | 1本 |
| SC-POCKETMINI-C1R1 | |
| SC-POCKETMINI-H1R1 | 2本 |
| ユーザーズガイド・保証書(本書) | 1枚 |

製品仕様

SC-POCKETMINI-C1R1

| | |
|-------------|---|
| サポートOS | iOS/iPadOS/Android/Windows/macOS/ChromeOS |
| 無線LAN規格 | IEEE 802.11n(5GHz帯[1T1R])※1 |
| インターフェイス ※2 | 送信機(TX): USB-C※3 受信機(RX): HDMI |
| 入力最大解像度 | 1920×1080/60Hz |
| 出力解像度 | 1920×1080/60Hz, 1280×720/60Hz |
| 伝送距離 | 最大30m※4(電波干渉がない見通し距離) |
| HDCP※5 | v1.4 |
| 送信機(TX)増設台数 | 最大6台[送信機(TX)合計接続台数7台] |
| 電源 | 送信機(TX): USBバスパワー 受信機(RX): DC5V/1A※6 |
| 外形寸法※7 | 送信機(TX): 幅90×奥行40×高さ16mm 受信機(RX): 幅145×奥行40×高さ16mm |
| 質量 | 送信機(TX): 25g 受信機(RX): 39g |
| 動作環境温度 | 0~40°C |
| 保証期間 | 1年間 |

SC-POCKETMINI-H1R1

| | |
|-------------|---|
| サポートOS | — ※OSに依存しません |
| 無線LAN規格 | IEEE 802.11n(5GHz帯[1T1R])※1 |
| インターフェイス ※2 | 送信機(TX): HDMI 受信機(RX): HDMI |
| 入力最大解像度 | 1920×1080/60Hz |
| 出力解像度 | 1920×1080/60Hz, 1280×720/60Hz |
| 伝送距離 | 最大30m※4(電波干渉がない見通し距離) |
| HDCP※5 | v1.4 |
| 送信機(TX)増設台数 | 最大6台[送信機(TX)合計接続台数7台] |
| 電源 | 送信機(TX): 受信機(RX): DC5V/1A※6 |
| 外形寸法※7 | 送信機(TX): 幅90×奥行40×高さ16mm 受信機(RX): 幅145×奥行40×高さ16mm |
| 質量 | 送信機(TX): 39g 受信機(RX): 39g |
| 動作環境温度 | 0~40°C |
| 保証期間 | 1年間 |

- ※1: 本製品は、5GHz帯のW52(36/40/44/48ch)の電波を使用していますので屋内使用のみとなります。また、同一空間に受信機(RX)は本製品の使用可能なチャンネル数と同じ4台までにしてください。
※2: 変換アダプターを使用した場合は、動作保証外となります。
※3: 接続する機器がDP Altモード(DisplayPort Alt Mode)に対応している必要があります。
※4: 一般的なオフィスなどでは、15mぐらいが安定して通信可能な距離となります。
※5: ディスプレイ、出力機器もHDCPに対応している必要があります。
※6: USB給電アダプターは付属しません。DC5V/1Aもしくは1A以上出力可能なアダプターをご用意ください。
※7: 本体ケーブルコネクターを含む

安全上のご注意

本製品は非常に精密にできていますので、取り扱いに際しては十分ご注意ください。

安全上のご注意では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

| | |
|------|--|
| △ 危険 | この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。 |
| △ 警告 | この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。 |
| △ 注意 | この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。 |

図記号の意味

- △ 注意を促す記号(△の中に警告内容が描かれています)
○ 行為を禁止する記号(○の中や近くに禁止内容が描かれています)
● 行為を指示する記号(●の中に指示内容が描かれています)

△ 危険

○ 本製品はPCなどの一般的なOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。
人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

○ 小さいお子様の手の届く所に置かないでください。
誤って口に入れるなどする恐れがあります。

△ 警告

○ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用したり、PCに接続しないでください。
・煙が出ている、変な匂いがするなど異常のとき。
・内部に水や金属物が入ってしまったとき。
・落したり、破損したとき。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

△ 注意

- 直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる所に放置しないでください。変形や変質をまぬくおそれがあります。
- 次のような場所には置かないでください。火災、感電、けがの原因になることがあります。
・湿気やほこりが多い場所
・ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所
・調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気がある場所
- 風通しの悪い場所や狭い場所など熱のこもりやすい場所への設置は行わないでください。内部に熱がこもり破損の原因となります。
- お手入れの際は、安全のため接続されている機器を取り外してください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。
- 本製品は民生用機器として設計されています。産業用機器と異なり長時間の安定動作は保証しておりませんのでご注意ください。
- 長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
- 本製品を接続したまま移動する場合は、物にぶつけるなど衝撃を与えないよう注意してください。本製品または送信元機器のUSB端子を破損する恐れがあります。
- 本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

ご使用の際は、コピーして必要事項をご記入ください。

保証書

■ 製品保証規定

- 買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
- 1) ご購入履歴が確認できない場合。
 - 2) 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 3) 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換等による故障。
 - 4) 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - 5) お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適なお取り扱い、または使用の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 6) 火災、地震、水害、壊滅、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 7) 寿命を有する部品や消耗品(バッテリー、乾電池等)の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- 製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

製品型番: □ SC-POCKETMINI-C1R1

保証期間: お買い上げ日より 1年間

フリガナ

お客様氏名

お客様住所

電話番号

E-mail

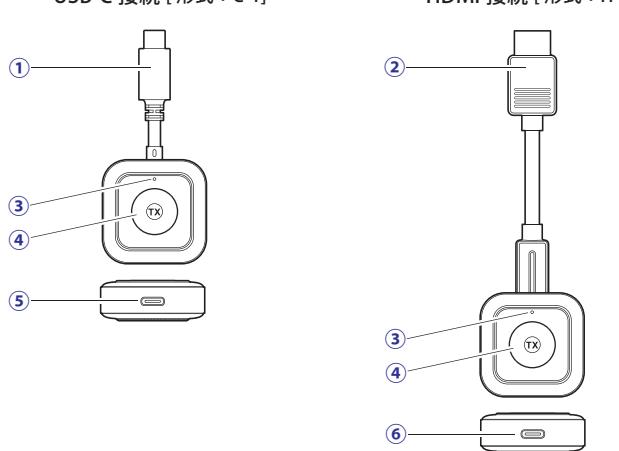
販売店のレシートや保証書を貼り付けるなどして保管してください。

PRINCETON

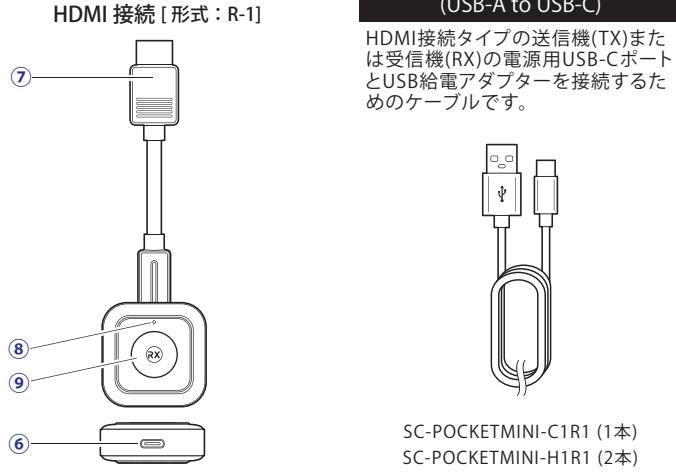
株式会社プリンストン
URL: <https://www.princeton.co.jp>

各部の名称と主な機能

子機 [送信機(TX)]



親機 [受信機(RX)]



①USB-Cコネクター(送信機:TX)

送信側のパソコンやスマートフォン/タブレットのUSB-Cポートに接続します。
※接続する機器がDP Altモード(DisplayPort Alt Mode)に対応している必要があります。

②HDMIコネクター(送信機:TX)

送信側のパソコンのHDMIポートに接続します。

③ランプ(送信機:TX)

点灯:送信機(TX)と受信機(RX)の間で無線接続できています。

点滅:送信機(TX)と受信機(RX)の間で無線接続できない状態です。

④操作ボタン(送信機:TX)

投影中に操作ボタンを押すと、投影を中断します。受信側の画面には本製品の待ち受け画面が表示されます。もう一度、[操作ボタン]を押すと、投影を再開します。

⑤USB PD(USB Power Delivery)用給電ポート(送信機:TX)

USB-Cコネクター搭載の送信機(TX)で、USB PD機能を使ってパソコンなどに電源を供給する場合に使用します(下記「MEMO」参照)。

⑥HDMI接続・電源用ポート(送信機:TXおよび受信機:RX)

HDMIコネクター搭載の送信機(TX)または受信機(RX)に電源を供給するためのポートです。付属の給電用USBケーブルを使ってUSB給電アダプターなどと接続します。

⑦HDMIコネクター(受信機:RX)

映像を投影するディスプレイなどのHDMIポートに接続します。

⑧ランプ(受信機:RX)

点灯:受信機(RX)に電源が供給されている状態です。

⑨操作ボタン(受信機:RX)

映像を投影中に[操作ボタン]を押すと、映像の回転や拡大が可能です。[操作ボタン]を押すたびに、映像が回転または拡大し、何度も押すと元の映像に戻ります。

※本機能はスマートフォン用機能になります。PCやその他映像機器では正しく表示されませんのでご注意ください。

MEMO USB-to-HDMI モデル(SC-POCKETMINI-C1R1)のUSB PD 機能

SC-POCKETMINI-C1R1の送信機(TX)に搭載されたUSB-Cポートは、USB PD(60W)に対応しています。送信機(TX)を接続した機器がUSB PD充電に対応している場合、映像を投影しながら送信機(TX)を接続したパソコンやスマートフォンなどの機器を充電できます。

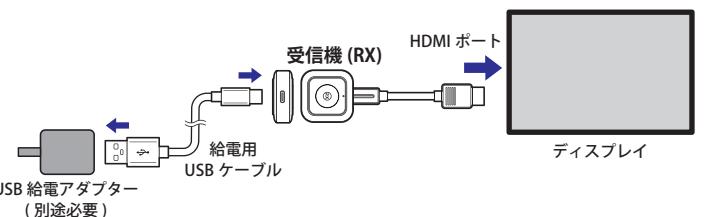
※USB PDアダプターおよびUSB PD給電ケーブルはご使用の機器付属のものやご使用の機器に対応する製品を別途ご用意ください。

機器の接続 [送信機(TX)1台→受信機(RX)1台で接続する場合]

STEP1 受信機(RX)をつなぐ

■ USB-C→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-C1R1)・HDMI→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-H1R1)共通

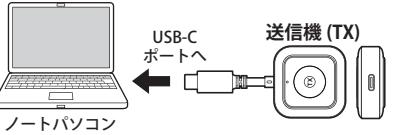
- 受信機(RX)のHDMIコネクターをディスプレイのHDMIポートに接続します。
- 付属の給電用USBケーブルを使って、受信機(RX)の電源用USBポートと別途用意したUSB給電アダプター(※)を接続します。
※1Aもしくは1A以上出力可能なUSB給電アダプターをご用意ください。



STEP2 送信機(TX)をつなぐ

■ USB-C→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-C1R1)の場合

- 送信機(TX)のUSB-Cコネクターを、パソコンやスマートフォンなど送信側の機器のUSBポートに接続します。

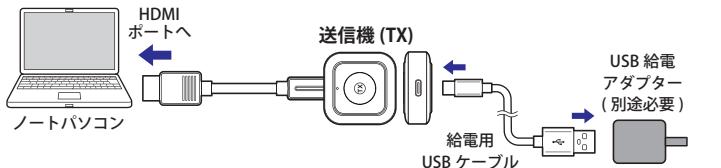


MEMO USB PD機能を使ってパソコンなどを充電する場合

USB PD(60W)を使って、パソコンなどの送信側の機器を充電する場合は、送信機(TX)のUSB PD用給電ポートにPCメーカー純正充電アダプターを接続してください。
※送信機(TX)本体は通常バスパワーで動作しますが、映像が途切れたりする場合は給電をお試しください。

■ HDMI→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-H1R1)の場合

- 送信機(TX)のHDMIコネクターを、パソコンなど送信側の機器のHDMIポートに接続します。
- 付属の給電用USBケーブルを使って、送信機(TX)の電源用USBポートと別途用意したUSB給電アダプター(※)を接続します。
※1Aもしくは1A以上出力可能なUSB給電アダプターをご用意ください。



STEP3 映像を投影する

- 受信機(RX)・送信機(TX)の接続が完了すると、自動で送信機(TX)からの映像がディスプレイに投影されます。



MEMO パソコンの「拡張モード」と「複製モード」

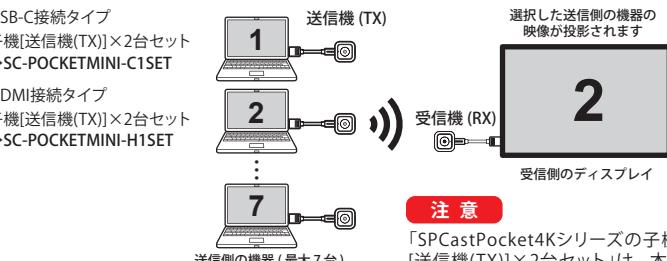
本製品は、送信機(TX)にWindows/パソコンまたはMacなどの拡張ディスプレイに対応した機器を接続した場合、拡張での投影も可能です。複製(ミラーリング)と拡張の切替方法につきましてはご使用のOSの説明をご確認ください。

MEMO

本製品は送信機(TX)に入力された映像・音声データを圧縮して送信しています。そのため通信状態や表示させる映像によっては画質の低下や映像出力に遅延が発生することがあります。

機器の接続 [複数の送信機(TX)→受信機(RX)1台で接続する場合]

本製品は、別売のSPCastPocketシリーズの子機[送信機(TX)]×2台セットを追加でご用意いただくことで、1台のディスプレイに複数の送信機(TX)からの映像を選択して投影することができます。1台の受信機(RX)につき最大7台の送信機(TX)を接続できます。また、送信側の機器はパソコン、スマートフォン、タブレットの混在が可能です。



■ ペアリングを行う

送信機(TX)を追加する場合は、受信機(RX)とペアリングを行う必要があります。

- ペアリングを行う際は、ペアリングを行う送信機(TX)と受信機(RX)のみ電源を入れて1ペアずつ行ってください。
- 送信機(TX)はペアリング時にパソコンなどに接続しなくても、給電できていれば可能です。
- ペアリングの情報は送信機(TX)に保存されます。他の受信機(RX)とペアリングを行いますと現在接続中の受信機(RX)とのペアリング情報は上書きされます。

- 受信機(RX)に電源が供給され、ランプが点灯していることを確認し、受信機(RX)をディスプレイのHDMI入力ポートに接続します。

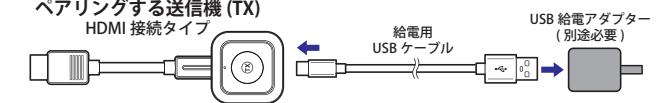
- ペアリングする送信機(TX)に給電します。

- USB-C→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-C1R1)の場合
送信機(TX)のUSB-Cコネクターを、送信側の機器(パソコンなど)のUSB-Cポートに接続します。



■ HDMI接続タイプの場合

給電用USBケーブルでUSB給電アダプターと送信機(TX)の電源用USBポートに接続します。



- 受信機(RX)の操作ボタンを長押し(5秒以上)

すると、画面に「Release the button to pair with Transmitter」と表示されるので操作ボタンを離します。



- 「Ready to Pair」と表示されますので、送信機(TX)の操作ボタンを長押し(5秒以上)します。



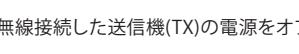
- 送信機(TX)のランプが点滅がいったん消灯しますので、操作ボタンを離すとペアリングを開始します。



- 接続OKのチェックマークが表示されたら、ペアリングは完了です。



- 続けて他の送信機(TX)もペアリングする際は、無線接続した送信機(TX)の電源をオフにしてから手順②から行ってください。



■ 送信機(TX)の接続順と映像の切り替え方法

■ どの送信機(TX)の映像が表示されるかについて

自動投影機能により、送信機(TX)の電源をオンにしたあと、最初に受信機(RX)との無線接続が確立された送信機(TX)の映像が投影されます。

■ 他の送信機(TX)の映像に切り替えたい場合

- 投影中の送信機(TX)の[操作ボタン]を押して、映像の送信を停止します。
- 映像を投影したい送信機(TX)の[操作ボタン]を押して、映像の投影を開始します。

映像が表示されない場合

弊社ホームページの「よくあるご質問(FAQ)」でも、対処方法を掲載していますので、ご活用ください。



■ 何も表示されない(画面が黒いままで)

- 受信機(RX)を接続したディスプレイの画面に何も表示されず黒いままでの場合は、機器やケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 受信機(RX)への給電をテレビのUSBポートから行っている場合、電力が不足している可能性があります。5V/1Aまたは1A以上出力可能なUSB給電アダプターへ変更してみてください。
- HDMI→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-H1R1)の場合、送信機(TX)と受信機(RX)を取り違えて接続していないかを確認してください。

■ 「信号がありません。暫くおまちください....」と表示される

- USB-C→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-C1R1)の場合、送信機(TX)を接続している機器がDP Altモードに対応しているかを確認してください。
- HDMI→HDMIモデル(SC-POCKETMINI-H1R1)の場合、送信機(TX)に付属のケーブルで給電されているかを確認してください。
- PCの省電力設定などでディスプレイへの映像出力が停止していないかご確認ください。

■ 待機画面のまま、送信側の映像が投影されない

- 通常は送信機(TX)の電源を入れてから、約10秒で受信機(RX)との接続が完了し、最初に接続した送信機からの映像が自動で投影されます。送信機(TX)が受信機(RX)に接続できていると、送信機(TX)のランプが点灯状態になります。
- 送信機(TX)のランプが点灯し、以下の待機画面が表示され、ノートパソコンとディスプレイのイラストを結ぶ矢印上のアイコンがチェックマークになっている場合は、送信機(TX)の[操作ボタン]を押してください。



- 送信機(TX)のランプが点滅したまま(未接続)の場合は、送信機(TX)と受信機(RX)をいったん機器から取り外し、「機器の接続」の説明を参考に、再度接続してみてください。
- 再度接続しても受信機(RX)と接続できない場合は、送信機(TX)と受信機(RX)が正しくペアリングができない可能性があります。下記の方法で受信機(RX)を初期化したあと、「機器の接続」[複数の送信機(TX)→受信機(RX)1台で接続する場合]に記載のペアリング手順を参考に、再度ペアリングを試してみてください。

■ 受信機(RX)を初期化する

- 機器と接続した状態で、受信機(RX)の[操作ボタン]を長押し(約20秒)します。
- 「Reset to Default」と表示されたらボタンを離します。初期化が始まり数秒後に再起動されれば完了です。



*受信機(RX)の初期化を実行しても、送信機(TX)のペアリング情報は保持されたままでありますので、再ペアリングの必要はありません。

■ 接続が安定しないなど不具合がある場合

- 上記の「受信機(RX)を初期化する」を実行し、再度ペアリングを実行してください。
- 周囲に5GHz帯のW52のチャンネルを使用する無線設備がある場合、W53やW56のチャンネルへ変更してみてください。
- 本製品を同一空間で複数セットご使用の場合、本製品同士で電波干渉が発生している可能性があります。受信機(RX)の台数を減らしてみてください。
- 送信機(TX)と受信機(RX)の距離を近づけてみてください。
- 本製品に給電しているUSB給電アダプターを他のアダプターと交換してみてください。